

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト14>連産品

<問題>

当社では、連産品であるX・Y製品を生産している。各製品は分離点以後に追加加工を行いAX・AY製品として販売している。次の資料に基づいて以下の問いに答えなさい。なお、分離点と完成品における各製品の物量に変化はないものとする。

<問1>

- ①物量基準での連結原価配賦額を答えなさい
- ②見積正味実現可能価額（NRV）を基準として連結原価を各製品に配賦し、各製品の連結原価配賦額、完成品総合原価および完成品単位原価を計算しなさい。
- ③修正NRV法による連結原価配賦額を計算しなさい。なお、売上総利益率（%）は端数を維持したまま計算する事（なお、個別加工費は実際額を使用すること）

<資料（問1、問2共通）>

(1)各製品の生産量と単位当たり市場価格

| | 生産量（単位：kg） | 市場価格（単価） |
|------|------------|----------|
| 製品AX | 3,000 | @600 |
| 製品AY | 2,000 | @300 |

(2)連結原価と分離後の見積・実際個別加工費

| |
|-----------|
| 連結原価 |
| 1,105,000 |

| | 見積個別加工費 | 実際個別加工費 |
|------|---------|---------|
| 製品AX | @50円 | @55円 |
| 製品AY | @20円 | @20円 |

<答案>

<問1>①

| | |
|-----|--|
| X製品 | |
| Y製品 | |

<問1>②

| | 連結原価配賦額 | 完成品総合原価 | 完成品単位原価 |
|------|---------|---------|---------|
| AX製品 | | | |
| AY製品 | | | |

<問2>

| | |
|-----|--|
| X製品 | |
| Y製品 | |